平成30年11月12日

平成30年度　第２回静岡県パートナーシップ委員会議事録

静岡県パートナーシップ委員会事務局
（静岡県くらし・環境部県民生活課）

１　**開催日時**　平成30年10月22日（月）午後３時から４時48分まで

２　**場　　所**　ふじのくにＮＰＯ活動センター
（静岡市駿河区南町14-1　水の森ビル２階）

３　**出席者等**

委員	９名	別紙１のとおり
事務局	７名	
傍聴	８名	ＮＰＯ関係３名、行政関係１名、学生４名
報道関係	０名	

４　**議事の経過**

15:00　開会

15:01　挨拶　静岡県くらし・環境部県民生活局　竹内局長

15:02　委員の異動報告及び定足数の確認

・事務局より、平成30年７月25日付けの澁谷委員の辞任及び平成30年８月６日付けの馬淵委員の就任を報告

・11名の委員中９名の出席により、静岡県パートナーシップ委員会設置要綱第６条第２項の規定に基づき委員会の成立を確認

15:04　議事　意見交換　伊豆地域における中間支援のあり方及び県の施策について（詳細は別紙２参照）

事務局より資料に基づき、伊豆地域のＮＰＯの現状・課題、今後の県の施策の案等について説明

（説明概要）

・伊豆地域のＮＰＯはまちづくり、観光等の分野で活動する団体が多い

・地域内にＮＰＯの支援を専門に行っている団体や市町の担当課はない

・ＮＰＯの課題や支援ニーズの内容に極端な地域性は認められないが、団体の活動のＰＲや団体間の交流・情報交換の機会提供等の面で支援が手薄となっている

・今後の施策の方向性として、新たに市民活動関係者間のネットワークづくりを行い、交流・情報交換の機会の創出を行うことが有効と思われる

・ネットワークの形としては、伊豆地域を複数の地区に分け、各地区のリーダー的ＮＰＯと東部ＦＮＣが連携して運営する方法等が考えられる

15:18　意見交換

事務局より説明のあった伊豆地域のＮＰＯの現状・課題の分析、今後の施策案の妥当性等について意見交換

（意見交換結果の概要）

・ワークショップの結果等を踏まえれば、市民活動関係者間のネットワークづくりによる交流・情報交換の機会の創出は必要

・ネットワークが有効に機能するためには、これによって情報の受発信が容易にな

るなど参加するＮＰＯ等にとって具体的なメリットが生まれることが重要
・ネットワークの運営については、推進協力団体の実行委員会形式やＦＮＣ自らの地道な働きかけが必要
・地域おこし協力隊や学生など若い力を取り込んでいく視点も重要

16:48　閉会